『福岡空港環境計画』と数値目標の達成状況

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

■環境マネジメント

「福岡空港エコエアポート協議会」では『福岡空港環境計画』（主な項目は次頁ご参照）の数値目標を軸としたPDCAマネジメントサイクルを導入しております。

FY2024における目標達成度は以下のとおりとなっており、今後も、弊社を中心に空港内事業者、その他関係者と連携して目標達成に向けて取り組んでまいります。

分野	目標	達成状況（FY2024実績）
大気	旅客1人あたりのCO2排出量を着実に削減する。(FY2016比)	全体91.0%・旅客当り70.6%
エネルギー（原油換算）	ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量を着実に削減する。(FY2016比)	105.8%
水	旅客1人あたりの上水使用料を削減する。(FY2016比)	全体45.3%・旅客当り36.6%
廃棄物	空港全体の廃棄物発生量のﾘｻｲｸﾙ率を40%まで向上させる。	実績31.2%
(施策目標)	GPU使用率60%	実績40.5%
	エコカー導入率20%	実績21.1%
	電力使用量5%削減(FY2016比)	13.6%増加

『福岡空港環境計画（抜粋）』（2018年3月改定）

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

大気	旅客1人あたりのCO2排出量を着実に削減する。	GPU使用促進 【目標】使用率60%
		車輌のｴｺｶｰ化（低公害・低燃料・低排出ｶﾞｽ車） 【目標】導入率20%
		ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ運動の組織的推進
		各施設の照明や冷暖房設備の省ｴﾈ化の推進 【目標】電力使用量FY2016比5%削減
エネルギー	ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量を着実に削減する。	GPU使用促進 【目標】使用率60%
		車輌のｴｺｶｰ化（低公害・低燃料・低排出ｶﾞｽ車） 【目標】導入率20%
		ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ運動の組織的推進
		高効率照明器具、照明設備のｽｲｯﾁｿﾞｰﾆﾝｸﾞ、人感ｾﾝｻｰ等の導入推進
		使用しない部屋の消灯
		高効率空調機器の採用、高効率運転の促進
		太陽光発電の導入
		各施設の照明や冷暖房設備の省ｴﾈ化の推進 【目標】電力使用量FY2016比5%削減
騒音・振動	低騒音型車両及びGPU使用促進等により着実に騒音・振動を低減する。	GPU使用促進 【目標】使用率60%
		GSE車両等の低騒音型車両への転換
		ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ運動の組織的推進
水	旅客1人あたりの上水使用料を削減する。(FY2016比)	各事業所の上水使用料の把握
		雨水や井水の利用
		節水器具の採用
		節水キャンペーン
土壌	可能な限り土壌への影響を小さくする。	尿素系融雪剤→酢酸系融雪剤への転換
		防除氷剤について、ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙからﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙに転換
		効率的な散布方法による散布量の低減
廃棄物	空港全体の廃棄物発生量のﾘｻｲｸﾙ率を40%まで向上させる。	新聞紙・雑誌の処分はﾘｻｲｸﾙ事業者へ委託
		一般廃棄物は排出事業者ごとの発生量の把握
		ごみの減量化キャンペーンの実施
		産業廃棄物の発生量、処分及び再利用方法を把握し、3Rを軸に削減